

第4回定時社員総会&懇親会が開催されました



日本RPF工業会は 2016年6月16日(木)明治記念館にて第4回定時社員総会を開催しました。

総会に先立ち中部大学の武田邦彦教授をお招きし、「日本の発展の鍵となる産業廃棄物」というテーマでご講演をいただきました。テレビなどでもご活躍の先生のご講演はとても分かりやすく、参加の皆様にとっても、とても楽しく有意義な時間となりました。

講演後の第4回定時社員総会には 109 名（会員 97 名、報道 12 名）が参加。すべての議案が滞りなく了承され、各理事、監事の任期満了と再任が承認され、長田和志氏の会長就任が発表されました。各役員は以下の通りとなります。（次ページに加藤信孝会長の総会でのあいさつ文掲載）

会長	長田和志	日本ウエスト(株) 代表取締役
副会長	海田周治	エビス紙料(株) 代表取締役
副会長	加藤信孝	(株)エコ・クリーン 代表取締役
専務理事	瀬田英博	(株)エコ・マイニング 専務取締役
常務理事	三輪陽通	三光(株) 代表取締役社長
常務理事	山本浩喬	(株)苫小牧清掃社 代表取締役
理事	首藤聖司	(株)東部開発 代表取締役社長
理事	今田秀幸	松崎商事(株) 専務取締役
理事	小川 勲	(株)オガワエコノス 代表取締役会長
理事	吉田 潤	(株)関商店 常務取締役茨城工場長
監事	揚張旨彦	(株)レックス 代表取締役社長
監事	田墨啓治	(株)タズミ 常務取締役



【写真】加藤会長（総会にて）

加藤信孝会長 第4回定時社員総会ご挨拶の要旨

本日はご多忙の中、第4回の定時社員総会へのご出席誠にありがとうございます。

後ほど、自民党政調会長の稲田朋美先生、自民党資源エネルギー戦略部会長の山本拓先生にご出席いただきます。選挙前のご多忙中にご出席いただけるとのことで、それだけRPF工業会が存在価値のある会になった証でございます。

さて、日本の経済も、幾分か景気回復の兆しがみられますが、グローバル社会において経済を復活させるのは難しいのではないかと状況になっております。私たち民間も経済の活性化に向け、力強くなっていかなくてはならないと考えます。RPF工業会は設立して4年が経ち、以下のような課題もございます。

- ① RPFの社会的認識を高めていくこと。
- ② 我々の業界を理解していただくためにも密な官公庁へのアプローチも大事です。
- ③ 私たちRPF工業会の地位向上を図る中、安全に関すること、とりわけ、火災等の発生原因究明や撲滅に取り組む必要があります。
- ④ RPFは日本では既にJIS化され、工業製品となっています。さらには、今年に入りISOの基準策定等の段階に入ってきており、世界的に工業製品として推進される流れになっています。この流れに当工業会が一役買う時期にきたようです。我々は国際標準化に非常に期待しています。
- ⑤ 当工業会が最も力を入れなければならないことは需要の増大です。モノは作っても需要家がなければ産

業は好循環しません。需要家様との会合を持つなどして、しっかりと需要の開拓は図る必要があります。お蔭さまをもちまして日本RPF工業会の基盤も出来てきたのではないかと思います。昨年1年間のご助力について心から御礼申し上げ、今後とも一層のご支援をたまりませんようお願い申し上げます。

総会後の懇親会での発言趣旨

第4回定時社員総会後の懇親会には108名（ご来賓20名、会員79名、報道9名）の参加がありました。

次ページよりご挨拶をいただきましたご来賓、新役員の皆様の発言要旨を掲載いたします。



【写真】稲田朋美自民党政調会長

稲田朋美自民党政調会長のご挨拶の要旨

本日は、日本RPF工業会の第4回総会、そして懇親会がこのような盛大に開催されておりますことを心よりお喜び申し上げます。

また、加藤会長始め、皆様方におかれましては、日頃よりわが党自民党の政策、そして自民党の活動に大変ご支援、また応援をいただいていることに深く感謝申し上げます。

加藤会長と私とは福井の同郷であり、加藤会長にはずっとずっと応援をいただいております、加藤会長のおかげで私の支援も全国的に広がっていると言っても過言ではありません。

そして、加藤会長は正直、勤勉、謙虚、行動力があるという福井人の持っている素晴らしさをすべて兼ね備えておられ、このご人格が短期間でこのRPF工業

会をここまでの会にされたと思います。そして、皆様方が取り組んでおられるこの事業は、代替エネルギーを造りだし、環境問題等々にも好影響を与え、これからの日本に有意義でございます。私達も精一杯できる限り、政策面で応援をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。本日はありがとうございました。



【写真】長田新会長

【長田新会長のご挨拶要旨】

この度、日本RPF工業会の会長を仰せつかりました、日本ウエスト株式会社の長田でございます。

就任に当たりご挨拶を申し上げます。

まず、なにを置きましても、今日までの加藤会長のご尽力に心より感謝を申し上げます。

本当にありがとうございました。

経験豊富な諸先輩方が多くおられる中で、わたくしのような若輩が会長という大役を仰せつかるということは、誠に身の引き締まる思いでございます。

工業界を会社に置き換えますと、先代社長から引き継いだ社長がまずしなくてはならないことは、「工場などの現場を支えてくれているスタッフらの信頼を得る」ことです。そのためには、現場第一主義で、足元から3k「汚い、きつい、危険」の改善に努力したいと思っております。

「汚い、きつい」は労働環境の改善や作業の機械化により改善させます。

工業会では、来る7月19日に技術品質委員会主催で、機

械メーカーなどを招き勉強会を開催いたします。

そしてやはり大切ことは機械化により多発する事故の「危険」から従業員を守ることでございます。

私たちの業界は、廃棄物処理法の強化や各種リサイクル法の制定により、その他サービス業から装置産業に変化し、急激に機械化されてきました。

そのスピードに「機械のリスク管理能力」が追いつかず、重大な労災事故が多発しています。大怪我をするほどですが、現場スタッフであり、経営者として大変辛いことでございます。

工業会では、年に一度の「安全大会」を開催していますが、なかなか現場のスタッフが参加できません。

そこで、当会のメンバーが地域や会社に出向き、直接現場スタッフへの事故防止の安全教員を実施し、労災事故のゼロ化を実現したいと考えております。

私たちを取り巻く経営環境は、少子高齢化による人材不足やその教育など重要な経営課題が山積しております。

このような課題を斬新なアイデアと行動力で解決し、微力ながら日本RPF工業会の会長として、業界の安定と発展のため、全力で取り組んでまいる所存でございます。

最後に会員各社をはじめ、関係省庁・関連団体の皆さまには、今後とも、日本RPF工業会の活動に一層のご理解・ご支援を賜りますようお願いし、就任のご挨拶とさせていただきます。





【写真】山本拓衆議院議員

山本拓衆議院議員ご挨拶の要旨

ご紹介いただきました自民党の新エネルギー戦略調査会長の山本拓でございます。今日はRPF工業会の定時総会ならびに懇親会が開かれまして心からお祝いを申し上げます。

ご案内のとおり、今年度から低炭素型廃棄物処理支援事業の中で、RPFの施設が正式追加になりまして、環境省、角倉課長には感謝を申し上げます。

経産省の松山課長と環境省の角倉課長はそれぞれ将来の次官候補で、RPFをこの両巨頭でしっかり前進していかななくてはならないと考えているところです。RPFの施設を作ったら使ってもらわないといけませんので、使う側の問題点等を我々がしっかり聞いて、作るほうと使うほうが相まって日本の国から産業廃棄物をどんどん減らしていくと、そしてまたそれが産業に寄与するということの技術を今から吸い上げていかななくてはなりません。

現在RPFのISO制定という方向で進めております。日本がJIS規格で世界に先行していますので、しっかりと日本のシステムをISOに組み入れたいと考えます。そうなりますと、ひとつひとつの工程がクリアになり、作業分担もクリアになって、危ない作業、単純作業には日本が誇る補助金が出ると予想されるロボット技術・ハイテク技術をしっかり導入して、世界のモデルパターンと一緒に作っていきたいと思います。

これだけビジネスチャンスが多い業界はないので、これから大いに新会長のもと頑張っていただけますよ

うに、心からお願いを申し上げます。本日はおめでとうございます。



【写真】羽山日本製紙連合会理事長の乾杯

本日は、日本RPF工業会の第4回総会が無事に、そして新会長の元で新体制がはじまったことを心からお喜び申し上げます。

私ども製紙業界は熱というものを紙を乾かすためにかなり大量に使わせていただいています。そういった意味で大変なエネルギー消費型産業な訳でございまして、エネルギーというものをいかに安定的でしかも安い価格で調達するかということが、事業活動を進めていくことで大変重要な課題となっております。特に昨今は紙の需要が低下をしてきており、いかにコストを低く抑えるか、また削減できるかということが、非常に大きな事業課題となっております。そういった意味からも、このRPFというエネルギー源を安定的に、且つ安価に調達させていただけることは有意義であると考えています。

さらには、このRPFでプラスチックを使うということは、いわゆるカスケード利用としての資源の有効利用という観点で大きな役割をしていると考えています。私ども製紙業界にとりまして、木材資源のカスケード利用、まずはマテリアルで使う、さらにリサイクルして使う、最後にサーマルとして使うなど資源の有効利用を段階的に考えて利用していきたいと考えます。

こういった観点からもRPF工業会の皆様とはいろんな形で、協力していく余地がまだまだあると考えております。では、RPF工業会の益々の発展とここにお集まりの会員企業様のご隆盛を祈念して、杯を挙げたいと思います。乾杯。おめでとうございます。(以上)

技術品質委員会第4回勉強会が開催されました

【写真】賛助会員様からのプレゼンの様子



【写真】海田技術品質委員長



品川クリスタルスクエア3階会議室にて技術品質委員会主催の勉強会が60名の出席のもと開催されました。2015年7月より廃棄物固形燃料のISO規格化が開始されましたが、国内での審議会も先ごろ7月4日にスタートされました。RPFも規格対象に含まれることが予想され、このISO規格化について（一財）日本品質保証機構 JIS 認証事業部 参与 遠藤洋一様からSRF－ISOの仕組み、JISとの関連、ISO規格化に対する日本の今後の進め方などについてご説明いただきました。規格対象物は①非有害廃棄物から製造され ②清掃工場、産業プロセス(工場等)などの施設で利用される ③エネルギー採集のために利用される 廃棄物固形燃料 SFR (Solid Recovered Fuels)とされ、対象物の範囲は広く設定され、RPFも含まれることになります。

次に株式会社サナース様からは「AIによる自動選別」についてプレゼンテーションがありました。選別工程で人手をかけないことによる作業者の安全、省力化についてご提案いただきました。

また、株式会社ウエノテックス様からは同社の新製品となる「破碎機」のご紹介をいただきました。RPF製造会社の安全・品質・生産性の向上にご協力いただけるものと思います。

お知らせ ～日本 RPF 工業会より～

- ・6月より長橋和男が事務局長補佐に就任しました。毎週月曜日、木曜日にRPF工業会事務所に出勤します。
 - ・9月にオガワエコノス様工場見学会が開催されます。日本製紙岩国工場の見学会も予定されています。
 - ・11月には第2回安全衛生大会（品川開催予定）が開催されます。今回は火災事故予防を中心に勉強会を開催する予定です。
- 会員、賛助会員の皆様にはご予約のほどお願いいたします。